

# 東三河地区

## マッチング機関

- ・ (株)アグリトリオ (豊橋市)
- ・ JAひまわり (豊川市)

## 連携型 (福祉施設)

- ・ NPO法人クオーレ (豊橋市)
- ・ NOP法人パルク (豊川市)
- ・ (株)グリーンフィールド (豊川市)

# (株) アグリトリオ

## (豊橋市)

<会社の概要>

マッチング機関

- ・(株)アグリトリオ(豊橋市)は、労働力を必要とする農家と農業で働きたい人をWebでマッチングするシステム「農How(ハウ)」と、農家と障がい者福祉施設をマッチングする「農Care(ケア)」を運用。
- ・契約社員2名を含む5名で運営し、対象地域は豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村、浜松市及び湖西市。

取り組んでみて

## 障がい者の雇用機会に

- ・障がい者に適した作業が選択でき、指導員が付き添う形で農業現場での作業を実施。
- ・請負報酬は作業内容に応じて、アグリトリオがアドバイスし調整。
- ・マッチングした主な作業はトマトの収穫・選別、ハウス内の作物残渣の除去、収穫コンテナ等の清掃で、サービス開始6ヶ月間で300件以上成立。
- ・同システムで労働した障がい者1名が、請負先の農業法人に就職しており、障がい者の雇用機会につながることを期待。

## きっかけ 人手不足のために

親会社(武蔵精密工業(株))で行われた「新規事業創出プロジェクト」の募集に、地域農業の人手不足等に役立ちたいと「農業用求人システムの開発・運用」を提案。平成31年2月に採択、4月からプロジェクトの運用を開始し、令和2年4月に別法人化。

## 農Howから農Careへ

- ・「農How」システムは、会員限定のWeb画面(スマートフォン、PC等)で農家の求人情報(日時、場所、作業内容等)を見て、主婦などの働きたい人が希望する農家に申込みを行い、農家から了解されればマッチングが成立する仕組み。
- ・「農Care」は、「農How」を応用し、働きたい人にかわり福祉施設を対象としたもので、農家と福祉施設を請負形式でつなぐ、新しい形の農福連携マッチングサービス。
- ・障がい者が安心して作業できるよう、Web上の作業マニュアル(動画)により予習復習ができることが利点。



アグリトリオからの

## メッセージ

- ・施設外就労として活用できる
  - ・リピート率の高さ
  - ・マニュアルがあるから安心
  - ・就職も可能
- ユニット(指導員+障がい者)で安心して現地で作業できます。
  - いろんな農家で働けます。毎日ワクワク。
  - 動画・静止画マニュアルで予習復習できます。
  - 双方の評価が良ければ就職まで可能です。

# JAひまわり (豊川市)

取り組んでみて

## 取組方法

- ・毎月、JAが農家の挿し芽作業の日程と福祉施設の就労可能日を調整。福祉施設は、当日の作業場所の環境に適した障がい者を選し、指導員1名が付き添う。
- ・出来高払いの報酬は、健常者の時給と同水準を確保。



指導員(右)と挿し芽作業に従事

## よかったこと

- ・挿し芽は、障がい者にも比較的作業しやすく、一緒に作業するパートさんの評価も聞け、障がい者の評判は良好。

## 取組の課題

- ・農家は、障がい者の作業能力や作業時間の制約を理解し、ある程度の許容が必要。
- ・福祉施設は、休憩所や男女別のトイレ等の施設がない場合などの作業環境に適した障がい者の選定が必要。
- ・事業を拡大しマッチング回数を増やすためには、JAの人員体制の充実が必要。

## 連携農家の声

スプレーマム農家 Y 氏

- ・障がい者の作業時間は短く、パート労働で調整をしています。
- ・指導員が付き添われていますので、安心して作業を任せられます。
- ・出来高払いなので、障がい者のペースで作業をしてもらえます。
- ・ハウスの近くに男女別トイレを設置するなど、働きやすい環境を整えていきたいです。



完成したスプレーマム苗

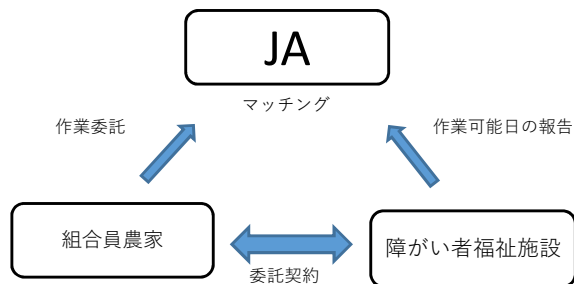
### <概要>

- ・JAひまわりのある豊川市は、農産物の栽培に適した気候条件に恵まれた地域で、トマト、イチゴ、大葉、バラ、スプレーマム、アスパラ、鉢物などの施設園芸が農業の中心。
- ・同JAは、農業現場での労働力確保のため、無料職業紹介事業や農福連携の推進に積極的に取り組み、現在、農家及び共同育苗施設と障がい者福祉施設※との間におけるスプレーマムの挿し芽作業で4件をマッチング。※(株)グリーンフィールド、NPO法人パークの事例参照

### マッチング機関

## きっかけ 農家の人手確保

- ・スプレーマムは、電照栽培により周年出荷しているが、苗作りの「挿し芽」や「定植」などの作業には、多くの人手が必要。
- ・このため、愛知県の農福連携相談窓口であるJA愛知中央会の呼びかけに応じた福祉施設とスプレーマム農家との間で2件をマッチングさせ、令和2年1月から施設外就労を開始。



## 今後の目標

障がい者に適した農作業の切分けは難しいが、挿し芽より難易度の高い定植作業についても、農家や福祉施設と打合せし、労働機会を増やしたい。

JAひまわり担当者からの

## メッセージ

当JAで農福連携のマッチングを行ったスプレーマム部会からの労働力不足の解消を求める声が少なくなりました。福祉施設の皆さんからも大変喜ばれており、生産者と障がい者がwin-winの取組とすることができるのではないのでしょうか。

# NPO法人クオーレ (豊橋市)

## 取り組んでみて

### 連携型(福祉施設)

#### <概要>

- ・NPO法人クオーレは、障がい者の”歩み”となる「キッカケ」や「チャンス」を見つけられる場所として、平成29年10月に就労移行支援事業所「インクル」を開所。利用者は30名で、運営スタッフは9名。令和2年8月には、就労継続支援（A・B型）事業所「就労サポート ココポルタ」を開所。
- ・大葉農家及びマッチングサービス※「農Care」を活用した農福連携は、施設外就労の4割程度で、障がい者10名程度が従事。  
※「(株)アグリトリオ」の事例参照

## きっかけ 大葉農家との出会い

- ・インクルの開所前に、他の障がい者福祉施設の紹介で農福連携に積極的な大葉農家S氏と出会ったことがきっかけでスタート。
- ・現在、S氏先で就職前提で障がい者1名が大葉の選別と袋詰め作業を実習（施設外就労）しているほか、福祉施設内で同作業を受託。

## 「農Care」の活用

- ・SNSで知り合った就農マッチングサービスを運営する(株)アグリトリオに農家とのマッチングを相談。同社の「農Care」システムを活用し、マッチングした農家等から改植での旧株除去、農産物のパック詰め、草刈等のスポット的作業のほか、大規模園芸施設法人で収穫用コンテナの洗浄作業なども受託。

クオーレからの

### メッセージ

障がい者に農作業は無理と思われるかもしれませんが、草刈りや農産物の荷造りの実績もあります。必要不可欠な農作業ながらも、面倒で後回しになりがちな作業を、障がい者の能力を信じて任せてみませんか。

- ・施設内の大葉袋詰め作業では、ボードの写真でサイズ判定とパック詰め枚数を確認し、過不足なく適切に作業を行い、障がい者10人が1日2時間で300パックを作製。
- ・「農Care」は動画・静止画で作業内容を事前にイメージでき、作業に適した服装や持ち物等のアドバイスもあり、農福連携に有益。
- ・施設外就労では、障がい者の適性に応じて人選し、障がい者2～3名に指導員1名が付き添い作業に従事。

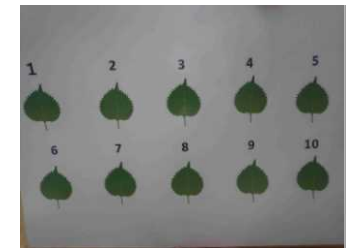


作業に使用する大葉のサイズ基準表(上)と枚数確認表(右)

## 連携農家の声

大葉農家 S 氏

- ・正確な作業ができるまでに時間がかかりますが、施設の方とも相談し、適性に応じた作業の見極めが必要です。
- ・自身の作業結果がわかるようにし、周囲がその結果を認めて褒めるなど、働きやすく、心が開ける職場環境づくりが重要です。



## 取組の課題と成果

- ・通常、「農care」は単発の作業依頼が多く周年作業がないため、就職に発展することは難しいが、大規模園芸施設法人で職場実習を受けた1名が就職。多様な農作業が経験できるため有用。
- ・農作業により、障がい者は労働への喜びを感じ、農家は活用見込みが立つなど、お互いに農福連携へのハードルが下がったと思う。

## 今後の目標

- ・栽培管理に集中したい農家に対して、農福連携の知名度を上げていきたい。